

温暖化でベニトンボが大分市でも見つかっています。

大分市広内でベニトンボ、10年ほど前に佐伯市で初見され大分市でも見かけるようになってきました。温暖化で北上中です。

2020年6月5日

江口 初男

ベニトンボは南方系の種で、台湾以南の中国中南部や、東南アジアなどに分布している。日本では1954年に鹿児島県で初めて発見されたが、1980年以降沖縄本島や鹿児島県以外の九州各地でも記録されるようになった。

また2000年代以降になって、高知県や徳島県など四国の各地からも記録されるようになり、日本におけるベニトンボの生息域が北上していることが明らかとなった。

この分布域の北上については地球温暖化などが原因として考えられている。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

